

主催：高知医療センター・高知県立大学SP研究会
高知医療センター・高知県立大学包括的連携事業

模擬患者（SP）参加型 医療コミュニケーション研修

～ SPって？ まず見て体験してみる ～

※ 模擬患者（SP）とは
『ある疾患の患者の持つあらゆる特徴（単に病歴や身体所見にとどまらず、病人特有の態度や心理的・感情的側面にいたるまで）を可能な限り模倣するよう訓練を受けた健康人』とされています。
日本では通常、医学生のコミュニケーション教育で『生きた教材として患者役を演ずる人』のことをいいます。
Simulated Patientの頭文字をとってSP（エスピー）と呼ばれています。

患者さんとのコミュニケーションにおいて、実際、患者さんがどのように感じたか、なぜそう感じたかをそのまま聞くことは少ないと思われます。模擬患者（SP）の役割は、それをそのまま素直に伝えることです。

今回、SP（プロ）参加型の医療コミュニケーション研修を初めて実施します。
まずは体験を、どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 平成25年1月19日（土） 13時～17時
場所 高知医療センター2階 やなせすぎ
対象 全職員 （日頃、患者さんとの対応のない業務の方も参加可）
講師 NPO法人 響き合いネットワーク・岡山SP研究会
代表 前田 純子氏
ほか SP3名・ファシリテータ3名

参加希望者は、12月19日（水）までに
事務局総務課矢生・棚野へ、参加希望表または
電話、メールでご連絡ください。
（内3458・3460）